

官報

号外
国会会議録

令和七年八月一日

○第二百十八回国 参議院会議録第一号(その一)

令和七年八月一日(金曜日)

午前十時一分開議

○議事日程 第一号

令和七年八月一日

午前十時開議

- 第一 議席の指定
- 第二 議長辞任の件
- 第三 副議長の選挙
- 第四 常任委員の選任
- 第五 常任委員長の選挙
- 第六 憲法審査会委員の選任
- 第七 情報監視審査会委員の選任
- 第八 政治倫理審査会委員の選任
- 第九 会期の件

○本日の会議に付した案件

- 一、日程第一及び第二
- 一、議長の選挙
- 一、日程第三より第五まで
- 一、特別委員会設置の件
- 一、日程第六
- 一、情報監視審査会委員辞任の件
- 一、日程第七より第九まで
- 一、元議員峯山昭範君逝去につき哀悼の件

令和七年八月一日 参議院会議録第一号(その一)

議席の指定 議長辞任の件 議長の選挙 議長就任の挨拶 副議長の選挙

○議長 関口昌一君 第二百十八回国会は本日召集されました。

これより会議を開きます。

日程第一 議席の指定

議長は、本院規則第十四条の規定により、諸君の議席をたゞいまの仮議席のとおりに指定いたします。

〔事務総長小林史武君議長席に着く〕

○事務総長(小林史武君) 議長関口昌一君から辞任願が提出されておりますので、暫時、私が議長の職務を行います。

日程第二 議長辞任の件

昨七月三十一日、議長関口昌一君から辞任願が提出されました。

辞表を参事に朗読させます。

〔参事朗読〕

辞任願

先般の通常選挙により参議院は議員の半数が改選された。よって改選後初の国会が召集されたこの機会に参議院議長を辞任いたしたいとお願ひする

令和七年七月三十一日

参議院議長 関口昌一

参議院事務総長 小林史武殿

○事務総長(小林史武君) 議長の辞任を許可することに御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○事務総長(小林史武君) 御異議ないと認めます。

よって、許可することに決しました。

○事務総長(小林史武君) これより議長の選挙を行います。

投票は無名投票でございます。議席に配付してあります無名投票用紙に被選挙人の氏名を記入して、白色の木札の名刺とともに、御登壇の上、投票をお願いします。

氏名点呼を行います。

〔参事氏名を点呼〕

〔投票執行〕

○事務総長(小林史武君) 投票漏れはございませんか。――投票漏れはないと認めます。投票箱閉鎖。

〔投票箱閉鎖〕

○事務総長(小林史武君) これより開票いたします。投票を参事に点検させます。

〔参事投票及び名刺を計算、投票を点検〕

○事務総長(小林史武君) 投票の結果を報告いたします。

投票総数 二百四十八票

名刺の数もこれと符合いたしております。

本投票の過半数は百二十五票でございます。

関口昌一君 二百四十六票

白票 二票

よって、関口昌一君が議長に当選されました。

〔拍手〕

〔投票者氏名は本号末尾に掲載〕

〔参事 議長関口昌一君を演壇に導く〕

○事務総長(小林史武君) たゞいま議長に当選されました関口昌一君を御紹介いたします。

〔拍手〕

○関口昌一君 一言御挨拶を申し上げます。

ただいま、皆様の御推挙によりまして、重ねて参議院議長の重責を担うことになりました。皆様には深く感謝いたしますとともに、改めて身の引き締まる思いでございます。

心を新たに、公正無私を旨として、議院の円満な運営を図り、参議院の使命と役割が十分に果たせるよう、全力を尽くす覚悟でございます。

皆様からのなお一層の御支援と御協力をいただきますようお願いいたします。私、私の挨拶といたします。

ありがとうございます。(拍手)

〔議長関口昌一君議長席に着く〕

○議長(関口昌一君) 議事を続けます。

日程第三 副議長の選挙を行います。

投票は無名投票でございます。議席に配付してあります無名投票用紙に被選挙人の氏名を記入して、白色の木札の名刺とともに、御登壇の上、投票をお願いします。

氏名点呼を行います。

〔参事氏名を点呼〕

〔投票執行〕

○議長(関口昌一君) 投票漏れはございませんか。――投票漏れはないと認めます。投票箱閉鎖。

〔投票箱閉鎖〕

○議長(関口昌一君) これより開票いたします。投票を参事に点検させます。

〔参事投票及び名刺を計算、投票を点検〕

○議長(関口昌一君) 投票の結果を報告いたします。

投票総数 二百四十七票

名刺の数もこれと符合いたしております。

本投票の過半数は百二十四票でございます。

福山哲郎君 二百四十六票

白票 一票

よって、福山哲郎君が副議長に当選されました。

(拍手)

(投票者氏名は本号末尾に掲載)

(参事 副議長福山哲郎君を演壇に導く)

○議長(関口昌一君) ただいま副議長に当選されました福山哲郎君を御紹介いたします。

(拍手)

○福山哲郎君 一言御挨拶申し上げます。

ただいま、皆様からの御推挙を賜りまして、副議長の大任を担うこととなりました。誠に身に余る光栄であります。

もとより微力ながら、中立公正を旨として、関口議長とともに円満な議会運営に努め、内外情勢が多難な中、本院が国民から期待されている役割を果たすことができるよう、また、民主主義発展のため、懸命に取り組んでまいる所存です。

皆様にはなお一層の御指導、御鞭撻を賜りますよう心よりお願いを申し上げます。私の就任の挨拶といたします。

ありがとうございます。(拍手)

○議長(関口昌一君) 山崎正昭君から発言を求められました。この際、発言を許します。山崎正昭君。

(山崎正昭君登壇、拍手)

○山崎正昭君 私は、年長のゆえをもちまして、議員一同を代表し、ただいま就任されました新議長並びに新副議長に對しまして、お祝いの言葉を申し上げ、あわせて、退任されました前副議長にお礼を申し上げたいと存じます。

関口昌一君は議長に再び当選され、福山哲郎君は副議長に当選されました。私ども一同、衷心より祝意を表する次第でございます。

皆様も御承知のとおり、関口議長並びに福山副議長は、長年にわたって豊かな議会運営の御経験を重ねてこられました。卓越した御見識をお持ちで誠実なお人柄、お二人が本院を代表する議長並びに副議長に就任されたことは、御同慶に堪えないところでございます。

お二人におかれましては、激動する内外の諸情勢の下、そのお力を遺憾なく発揮され、公正かつ民主的で、参議院らしい議会運営に努められ、本院の権威高揚を図るとともに、国民の負託に応えるため、一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。次に、長浜前副議長に對しまして、一言お礼を申し上げます。

長浜前副議長におかれましては、令和四年に副議長に就任されて以来、三年の長きにわたり、その円満なお人柄と豊富な御経験により、本院の公正な運営に尽力され、その重責を担われてまいりました。

ここに、その御労苦に對し深甚なる謝意を表しますとともに、今後とも、御自愛の上、議会政治発展のため、一層御活躍をいただきますようお願い申し上げます。お礼の言葉といたします。

どうもありがとうございます。(拍手)

○議長(関口昌一君) 長浜博行君から発言を求められました。この際、発言を許します。長浜博行君。

(長浜博行君登壇、拍手)

○長浜博行君 退任に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

ただいま、山崎正昭先生から御厚情あふれるお言葉をいただきまして、心より感謝を申し上げます。

令和四年八月三日に参議院副議長の大任を仰せ付かり、三年にわたる任期中、さきに勇退された尾辻前議長、そして関口議長の温かな御配慮を始め、議員各位のお力添えを賜りまして、この責務を全うすることができました。ここに謹んで御礼を申し上げます。

副議長就任時はコロナ禍で、議場でもマスクをしておりましたが、この三年間を振り返りますと、政治、経済、社会のあらゆる分野で様々な変化がありました。その中であつて、立法院としての使命と責任の重みを改めて実感し、議院の円満な運営のために、副議長として中立公正を第一に考えた三年間ございました。

この間、多くの方々の御支援と御厚情に支えられながら、副議長としての責務を果たすことができましたことは、私にとりましてかけがえのない経験であり、深い感謝の念に堪えません。

この経験を糧に、今後も本院の一員として、参議院に對する期待と国民の負託に応えるべく精進してまいります。

何とぞ、この上とも議員各位の一層の御指導、御鞭撻を賜りますようお願いを申し上げますとともに、重ねて心からの感謝を申し上げ、私の御挨拶とさせていただきます。

ありがとうございます。(拍手)

○議長(関口昌一君) 日程第四 常任委員の選任
本日、議長は、常任委員全員の辞任を許可いたしました。

これより常任委員の選任を行います。
常任委員の選任は、本院規則第三十条の規定により、全て議長の指名によることとなっております。

議長は、議席に配付いたしました氏名表のとおり常任委員を指名いたします。

議長の指名した委員は左のとおり

○内閣委員

青木 一彦君	磯崎 仁彦君
今井絵理子君	いんどう周作君
小野田紀美君	酒井 庸行君
友納 理緒君	山谷えり子君
山本 啓介君	石垣のりこ君
泉 房穂君	鬼木 誠君
木戸口英司君	足立 康史君
竹詰 仁君	竹谷とし子君
原田大二郎君	片山 大介君
柴田 巧君	大津 力君
大門実紀史君	伊勢崎賢治君
阿達 雅志君	岩本 剛人君
中西 祐介君	長谷川英晴君
馬場 成志君	藤井 一博君
藤川 政人君	松下 新平君
山田 太郎君	山本 順三君
小沢 雅仁君	岸 真紀子君
古賀 千景君	吉川 沙織君
伊藤 辰夫君	芳賀 道也君
上田 勇君	西田 実仁君

令和七年八月一日 参議院会議録第一号(その二) 常任委員の選任

○決算委員		○行政監視委員		○懲罰委員	
船橋 利実君	堀井 巖君	石井 浩郎君	井上 義行君	石井 準一君	大家 敏志君
松川 るい君	宮本 周司君	上野 通子君	小川 克巳君	岡田 直樹君	東野 秀樹君
山下 雄平君	山田 宏君	加田 裕之君	北村 経夫君	森 ゆうこ君	吉田 忠智君
脇 雅昭君	郡山りよう君	上月 良祐君	鈴木 大地君	磯崎 哲史君	秋野 公造君
小島とも子君	柴 慎一君	出川 桃子君	西田 英範君	松沢 成文君	松田 学君
杉尾 秀哉君	高木 真理君	野上浩太郎君	橋本 聖子君	――	
徳永 エリ君	福士 珠美君	本田 顕子君	山谷えり子君		
山内佳菜子君	伊藤 孝恵君	山本 啓介君	石垣のりこ君		
伊藤 辰夫君	牛田 茉友君	鬼木 誠君	岸 真紀子君		
江原くみ子君	田村 まみ君	木戸口英司君	塩村あやか君	――	
上田 勇君	平木 大作君	福島みずほ君	かこしま彰宏君		
三浦 信祐君	宮崎 勝君	後藤 斎君	小林さやか君		
嘉田由紀子君	金子 道仁君	芳賀 道也君	石川 博崇君		
串田 誠一君	松野 明美君	里見 隆治君	石井 苗子君	――	
安達 悠司君	神谷 宗幣君	新実 彰平君	安藤 裕君		
中田 優子君	大門実紀史君	初鹿野裕樹君	岩渕 友君		
山本 太郎君		奥田ふみよ君	北村 晴男君		
○議長(関口昌一君) 御異議ないと認めます。		○議長(関口昌一君) 御異議ないと認めます。		○議長(関口昌一君) 御異議ないと認めます。	
いんどう周作君		伊波 洋一君		よって、議長は、	
片山さつき君	越智 俊之君	岩本 剛人君	梶原 大介君	内閣委員長に小野田紀美君を指名いたします。	
見坂 茂範君	小林孝一郎君	神谷 政幸君	こやり隆史君	総務委員長に小沢雅仁君を指名いたします。	
酒井 庸行君	末松 信介君	清水 真人君	馬場 成志君	法務委員長に谷合正明君を指名いたします。	
高橋はるみ君	西田 昌司君	藤井 一博君	星 北斗君	外交防衛委員長に宮崎勝君を指名いたします。	
藤川 政人君	藤木 真也君	牧野たかお君	若林 洋平君	財政金融委員長に宮沢洋一君を指名いたします。	
森 まさこ君	青木 愛君	渡辺 猛之君	石橋 通宏君	文教科学委員長に勝部賢志君を指名いたします。	
古賀 千景君	古賀 之士君	熊谷 裕人君	三上 えり君	厚生労働委員長に本田顕子君を指名いたします。	
羽田 次郎君	村田 享子君	森本 真治君	横沢 高德君	農林水産委員長に舞立昇治君を指名いたします。	
奥村 祥大君	竹詰 仁君	庭田 幸恵君	浜野 喜史君	経済産業委員長に磯崎哲史君を指名いたします。	
浜口 誠君	窪田 哲也君	原田 秀一君	伊藤 孝江君	国土交通委員長に小西洋之君を指名いたします。	
杉 久武君	竹谷とし子君	下野 六太君	青島 健太君	環境委員長に青山繁晴君を指名いたします。	
石井 章君	佐々木りえ君	高木かおり君	梅村みずほ君	国家基本政策委員長に浅田均君を指名いたします。	
櫻井 祥子君	山中 泉君	大津 力君		予算委員長に中西祐介君を指名いたします。	
吉良よし子君	伊勢崎賢治君			決算委員長に片山さつき君を指名いたします。	
				行政監視委員長に芳賀道也君を指名いたします。	
				議院運営委員長に牧野たかお君を指名いたします。	
				懲罰委員長に松田学君を指名いたします。	

○議長(関口昌一君) この際、特別委員会の設置についてお諮りいたします。

災害に関する諸問題を調査し、その対策樹立に資するため、委員二十名から成る災害対策特別委員会を、

政府開発援助を始めとする国際援助・協力に関する諸問題の調査並びに沖縄及び北方問題に関する対策樹立に資するため、委員三十五名から成る政府開発援助等及び沖縄・北方問題に関する特別委員会を、

政治改革に関する調査のため、委員三十五名から成る政治改革に関する特別委員会を、

北朝鮮による拉致等に関する諸問題を調査し、その対策樹立に資するため、委員二十名から成る北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会を、

地方創生並びにデジタル社会の形成及び推進等に関する総合的な対策を樹立するため、委員二十名から成る地方創生及びデジタル社会の形成等に関する特別委員会を、

消費者の利益の擁護及び増進等に関する総合的な対策を樹立するため、委員二十名から成る消費者問題に関する特別委員会を、

また、東日本大震災からの復興に当たり、その総合的な対策樹立に資するため、委員三十五名から成る東日本大震災復興特別委員会を、

それぞれ設置いたしたいと存じます。

まず、災害対策特別委員会、政治改革に関する特別委員会、北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会、地方創生及びデジタル社会の形成等に関する特別委員会、消費者問題に関する特別委員会並びに東日本大震災復興特別委員会を設置することについて採決をいたします。

以上の六特別委員会を設置することに御異議ございませんか。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕

○議長(関口昌一君) 御異議ないと認めます。

よって、災害対策特別委員会外五特別委員会を設置することに決しました。

次に、政府開発援助等及び沖縄・北方問題に関する特別委員会を設置することについて採決をいたします。

本特別委員会を設置することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長(関口昌一君) 過半数と認めます。

よって、本特別委員会を設置することに決しました。

本院規則第三十条の規定により、議長は、議席に配付いたしました氏名表のとおり特別委員を指名いたします。

議長の指名した委員は左のとおり

○災害対策特別委員

阿達 雅志君	小川 克巳君
梶原 大介君	加藤 明良君
古庄 玄知君	佐藤 啓君
藤木 眞也君	宮本 周司君
泉 房穂君	鬼木 誠君
木戸口英司君	広田 一君
平戸 航太君	舟山 康江君
平木 大作君	宮崎 勝君
嘉田由紀子君	松野 明美君
塩入 清香君	仁比 聡平君

○政府開発援助等及び沖縄・北方問題に関する特別委員

青山 繁晴君	朝日健太郎君
石井 浩郎君	井上 義行君
今井絵理子君	白井 正一君

○政治改革に関する特別委員

磯崎 仁彦君	岩本 剛人君
いんどう周作君	白井 正一君
神谷 政幸君	上月 良祐君
古庄 玄知君	永井 学君
藤井 一博君	船橋 利実君
古川 俊治君	星 北斗君
山下 雄平君	若井 敦子君
脇 雅昭君	石橋 通宏君
熊谷 裕人君	小西 洋之君
辻元 清美君	福士 珠美君
吉川 沙織君	足立 康史君
磯崎 哲史君	伊藤 辰夫君
浜野 喜史君	秋野 公造君
石川 博崇君	里見 隆治君
青島 健太君	石井めぐみ君
柴田 巧君	宮出 千慧君
山中 泉君	山添 拓君
木村 英子君	

○北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員

北村 経夫君	小林 一大君
自見はなこ君	清水 真人君
松下 新平君	山田 宏君
山谷えり子君	吉井 章君
打越さく良君	郡山りよう君
三上 えり君	牛田 茉友君
川合 孝典君	窪田 哲也君
原田大二郎君	石 平君
中条きよし君	櫻井 祥子君
大島九州男君	百田 尚樹君

別委員

○消費者問題に関する特別委員

赤松 健君	生稲 晃子君
上野 通子君	神谷 政幸君
古賀友一郎君	進藤金日子君
宮本 周司君	山田 太郎君
塩村あやか君	田島麻衣子君
村田 享子君	山内佳菜子君
奥村 祥大君	田村 まみ君
川村 雄大君	高橋 光男君
石井 章君	松沢 成文君
後藤 翔太君	大門実紀史君

○東日本大震災復興特別委員

石井 浩郎君	江島 潔君
小川 克巳君	梶原 大介君
かまやち敏君	見坂 茂範君
小林孝一郎君	櫻井 充君
鈴木 大地君	出川 桃子君
橋本 聖子君	藤木 眞也君
星 北斗君	宮沢 洋一君
森 まさこ君	石垣のりこ君
小沢 雅仁君	古賀 千景君
古賀 之士君	田名部匡代君
横沢 高德君	かこしま彰宏君
榛葉賀津也君	竹詰 仁君
佐々木雅文君	杉 久武君
竹谷とし子君	高木かおり君
新実 彰平君	杉本 純子君
初鹿野裕樹君	岩渕 友君
山本 太郎君	北村 晴男君
伊波 洋一君	

○議長(関口昌一君) 日程第六 憲法審査会委員の選任

本日、議長は、憲法審査会委員全員の辞任を許可いたしました。

これより憲法審査会委員の選任を行います。

憲法審査会委員の選任は、参議院憲法審査会規程第三条の規定により、議長の指名によることとなっております。

議長は、議席に配付いたしました氏名表のとおり憲法審査会委員を指名いたします。

議長 議長の指名した委員は左のとおり

青山 繁晴君	白井 正一君
梶原 大介君	片山さつき君
加藤 明良君	古庄 玄知君
小林 一大君	中西 祐介君
西田 英範君	東野 秀樹君
藤川 政人君	藤木 眞也君
松川 るい君	松下 新平君
山本 啓介君	山本佐知子君
吉井 章君	若井 敦子君
若林 洋平君	打越さく良君
小沢 雅仁君	熊谷 裕人君
小西 洋之君	田島麻衣子君
辻元 清美君	長浜 博行君
福島みずほ君	足立 康史君
上田 清司君	川合 孝典君
水野 孝一君	山田 吉彦君
伊藤 孝江君	佐々木雅文君
谷合 正明君	平木 大作君
浅田 均君	片山 大介君
柴田 巧君	松沢 成文君
安達 悠司君	塩入 清香君
宮出 千慧君	山添 拓君
山本 太郎君	

○議長(関口昌一君) この際、お諮りいたします。

古賀之士君、田名部匡代君、秋野公造君、串田誠一君から、それぞれ情報監視審査会委員を辞任いたしましたとの申出がございました。

いずれも許可することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(関口昌一君) 御異議ないと認めます。よって、いずれも許可することに決しました。

○議長(関口昌一君) 日程第七 情報監視審査会委員の選任

情報監視審査会委員の選任は、参議院情報監視審査会規程第三条の規定により、議院の議決によることとなっております。

情報監視審査会委員に有村治子君、石田昌宏君、岩本剛人君、田名部匡代君、川合孝典君、秋野公造君、串田誠一君、岩本麻奈君を選任することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長(関口昌一君) 過半数と認めます。よって、選任することに決しました。

○議長(関口昌一君) 日程第八 政治倫理審査会委員の選任

本日、議長は、政治倫理審査会委員全員の辞任を許可いたしました。

これより政治倫理審査会委員の選任を行います。

政治倫理審査会委員の選任は、参議院政治倫理審査会規程第七条の規定により、議長の指名によることとなっております。

議長は、議席に配付いたしました氏名表のとおり政治倫理審査会委員を指名いたします。

議長 議長の指名した委員は左のとおり

石井 準一君	自見はなこ君
古川 俊治君	松村 祥史君
宮本 和宏君	山下 雄平君
渡辺 猛之君	木戸口英司君
森本 真治君	古川 沙織君
平戸 航太君	舟山 康江君
石川 博崇君	石井めぐみ君
松田 学君	

○議長(関口昌一君) これにて休憩いたします。

午前十一時十七分休憩

午後四時一分開議

○議長(関口昌一君) 休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程第九 会期の件

議長は、今期国会の会期を五日間といたしたいと存じます。

会期を五日間とすることに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長(関口昌一君) 過半数と認めます。

よって、会期は五日間とすることに決しました。

○議長(関口昌一君) さきに院議をもって永年在職議員として表彰されました元議員峯山昭範君は、去る七月十八日逝去されました。誠に痛惜の極みであり、哀悼の念に堪えません。

つきましては、この際、院議をもって同君に対し弔詞をささげることになつたいと存じますが、御異議ございませんか。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕

○議長(関口昌一君) 御異議ないと認めます。弔詞を朗読いたします。

〔総員起立〕

参議院は わが国 民主政治発展のため力を尽くされ 特に院議をもって永年の功労を表彰せられ さきに法務委員長 運輸委員長の重任にあたられました 元議員峯山昭範君の長逝に対し つつしんで哀悼の意を表し うやうやしく弔詞をささげます

本日はこれにて散会いたします。

午後四時三分散会

出席者は左のとおり。

議長	関口 昌一君
副議長	福山 哲郎君

中田 優子君	宮出 千慧君
平戸 航太君	櫻井 祥子君
後藤 翔太君	小林さやか君
安達 悠司君	塩入 清香君
庭田 幸恵君	杉本 純子君
初鹿野裕樹君	竹詰 仁君
堂込麻紀子君	大津 力君
岩本 麻奈君	山中 泉君
浜口 誠君	松田 学君

安藤 裕君	梅村みずほ君
磯崎 哲史君	神谷 宗幣君
上田 清司君	奥村 祥大君
白川 容子君	かこしま彰宏君
岩渕 友君	大門実紀史君
牛田 茉友君	水野 孝一君
山添 拓君	江原くみ子君
原田 秀一君	吉良よし子君
山田 吉彦君	伊藤 辰夫君
仁比 聡平君	窪田 哲也君
田村 まみ君	芳賀 道也君
小池 晃君	下野 六太君
足立 康史君	後藤 斎君
宮崎 勝君	三浦 信祐君
浜野 喜史君	伊藤 孝恵君
平木 大作君	杉 久武君
舟山 康江君	榛葉賀津也君
川合 孝典君	横山 信一君
上田 勇君	伊藤 孝江君
秋野 公造君	里見 隆治君
石川 博崇君	竹谷とし子君
谷合 正明君	西田 実仁君
竹内 真二君	友納 理緒君
川村 雄大君	長谷川英晴君
ながえ孝子君	佐々木雅文君
小林 一大君	加藤 明良君
司 隆史君	東野 秀樹君
西田 英範君	原田大二郎君
梶原 大介君	神谷 政幸君
古庄 玄知君	高橋 光男君
越智 俊之君	白井 正一君
本田 顕子君	井上 義行君
青山 繁晴君	朝日健太郎君
小野田紀美君	山田 宏君

山下 雄平君	宮本 周司君
舞立 昇治君	阿達 雅志君
野上浩太郎君	山谷えり子君
猪口 邦子君	松下 新平君
片山さつき君	滝波 宏文君
高橋 克法君	古賀友一郎君
青木 一彦君	宮沢 洋一君
野村 哲郎君	三原じゅん子君
浅尾慶一郎君	福岡 資麿君
尾辻 朋実君	安野 貴博君
平山佐知子君	寺田 静君
赤松 健君	生稲 晃子君
出川 桃子君	今井絵理子君
小林孝一郎君	鈴木 大地君
藤井 一博君	永井 学君
山本佐知子君	山本 啓介君
星 北斗君	高橋はるみ君
加田 裕之君	清水 真人君
こやり隆史君	佐藤 啓君
進藤金日子君	堀井 巖君
馬場 成志君	酒井 庸行君
上月 良祐君	長谷川 岳君
大家 敏志君	牧野たかお君
石井 準一君	磯崎 仁彦君
藤川 政人君	有村 治子君
古川 俊治君	岡田 直樹君
松山 政司君	山本 順三君
末松 信介君	北村 晴男君
高良 沙哉君	望月 良男君
百田 尚樹君	伊波 洋一君
若井 敦子君	宮本 和宏君
脇 雅昭君	見坂 茂範君
かまやち敏君	泉 房穂君

吉井 章君	若林 洋平君
いんどう周作君	三上 えり君
岩本 剛人君	福山 守君
小川 克巳君	船橋 利実君
藤木 眞也君	松川 るい君
山田 太郎君	小沢 雅仁君
北村 経夫君	石田 昌宏君
江島 潔君	渡辺 猛之君
西田 昌司君	石井 浩郎君
森 まさこ君	上野 通子君
中西 祐介君	徳永 エリ君
松村 祥史君	櫻井 充君
鶴保 庸介君	橋本 聖子君
鈴木 宗男君	吉川 沙織君
山崎 正昭君	中曽根弘文君
山内佳菜子君	奥田ふみよ君
郡山りょう君	福士 珠美君
伊勢崎賢治君	小島とも子君
ラザール石井君	大島九州男君
横沢 高德君	村田 享子君
山本 太郎君	高木 真理君
古賀 千景君	柴 愼一君
鬼木 誠君	塩村あやか君
田島麻衣子君	岸 真紀子君
石垣のりこ君	勝部 賢志君
木戸口英司君	古賀 之士君
吉田 忠智君	森本 真治君
熊谷 裕人君	杉尾 秀哉君
小西 洋之君	広田 一君
石橋 通宏君	斎藤 嘉隆君
水岡 俊一君	田名部匡代君
森 ゆうこ君	牧山ひろえ君
青木 愛君	蓮 舫君
辻元 清美君	福島みずほ君

第二百十七回国会及び第二百十七回国会開 会後の議長の報告事項 去る六月二十一日議長において、次のとおり常任 委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。 外交防衛委員 辞任 松山 政司君 補欠 若林 洋平君 財政金融委員 辞任 永井 学君 補欠 西田 昌司君 若林 洋平君 松山 政司君 浜口 誠君 堂込麻紀子君 国土交通委員 辞任 西田 昌司君 補欠 永井 学君 堂込麻紀子君 浜口 誠君 予算委員 辞任 白井 正一君 補欠 田中 昌史君	議長運営委員 辞任 田中 昌史君 補欠 白井 正一君 同日議員から委員会審査省略要求書を付して次の 議案が提出された。 財政金融委員長三宅伸吾君解任決議案(柴愼一 君外二名発議) 同日委員長から次の報告書が提出された。 財政及び金融等に関する調査報告書 国家の基本政策に関する調査報告書 国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調 査報告書 行政監視、行政評価及び行政に対する苦情に関 する調査報告書 政治改革に関する調査報告書 北朝鮮による拉致問題等に関しての対策樹立に 関する調査報告書 地方創生及びデジタル社会の形成等に関しての 総合的な対策樹立に関する調査報告書 消費者問題に関する総合的な対策樹立に関す る調査報告書 東日本大震災復興の総合的対策に関する調査報 告書 去る六月二十三日議長において、次のとおり常任 委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。 予算委員 辞任 田中 昌史君 補欠 白井 正一君 議長運営委員 辞任 白井 正一君 補欠 田中 昌史君 去る六月二十四日議長において、次のとおり常任 委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。 財政金融委員 辞任 大門実紀史君 補欠 小池 晃君	国土交通委員 辞任 小池 晃君 補欠 大門実紀史君 予算委員 辞任 安江 伸夫君 補欠 上田 勇君 議長運営委員 辞任 上田 勇君 補欠 安江 伸夫君 同日内閣から次の答弁書を受領した。 参議院議員浜田聡君提出医療費適正化計画に係 る政策評価に関する質問に対する答弁書(第一 八〇号) 参議院議員浜田聡君提出消費税減税がインフレ を加速させる旨の主張に係る政府の見解に関す る質問に対する答弁書(第一八一号) 参議院議員浜田聡君提出期日前投票及び投票日 当日における啓発活動への投票干渉罪適用の解 釈等に関する質問に対する答弁書(第一八二号) 参議院議員浜田聡君提出誇大広告による実績に 基づく審議会等の委員の任命に関する質問に対 する答弁書(第一八三号) 参議院議員齊藤健一郎君提出行政事務標準文字 の導入及び電子証明書を用いたeKYCの制度 運用等に関する質問に対する答弁書(第一八四 号) 参議院議員浜田聡君提出医療費適正化計画にお ける数値目標及び効果検証の妥当性に関する質 問に対する答弁書(第一八五号) 参議院議員浜田聡君提出武雄アジア大学の設置 認可に関する質問に対する答弁書(第一八六号) 参議院議員浜田聡君提出中国企業のCMへの日 本人タレントの出演に関する質問に対する答弁 書(第一八七号)	参議院議員浜田聡君提出災害の予言報道による 観光業への影響及び政府の対策に関する質問に 対する答弁書(第一八八号) 参議院議員浜田聡君提出「日本版チャイナ・ハ ウス」設立の必要性に関する質問に対する答弁 書(第一八九号) 参議院議員石橋通宏君提出ミャンマー国軍総司 令官が実施を公言する総選挙に係る日本政府の 態度に関する質問に対する答弁書(第一九〇号) 参議院議員石橋通宏君提出我が国における難民 認定の状況に関する質問に対する答弁書(第一 九一号) 同日内閣から、次の質問については、いずれも検 討する必要がある、これに日時を要するため、そ れぞれ明示する期限までに答弁する旨の国会法第 七十五条第二項後段の規定による各通知書を受領 した。 参議院議員齊藤健一郎君提出観光公害対策に関 する質問(第一九二号)(答弁することができ る期限 六月二十七日) 参議院議員浜田聡君提出政治資金の透明性及び 選挙の公平性の確保に関する質問(第一九三号) (同 六月二十七日) 参議院議員浜田聡君提出石破茂内閣総理大臣の 過去の北朝鮮訪問及び接待疑惑に関する質問 (第一九四号)(同 六月二十七日) 参議院議員浜田聡君提出地方自治体の外郭団体 における職員の採用・登用・不祥事対応に関す る質問(第一九五号)(同 六月二十七日) 参議院議員浜田聡君提出フジ・メディア・ホー ルディングスの外資比率と総務省の対応の適切 性に関する第三回質問(第一九六号)(同 六月 二十七日)

参議院議員浜田聡君提出外務省ウェブサイトの「南京事件」に係る記述に関する再質問(第一九七号)(同 六月二十七日) 参議院議員野田国義君提出固定価格買取制度に関する質問(第一九八号)(同 六月二十七日) 参議院議員塩村あやか君提出悪質ホストクラブの海外進出による被害防止に関する質問(第一九九号)(同 六月二十七日) 参議院議員塩村あやか君提出消防団員の支援に関する質問(第二〇〇号)(同 六月二十七日) 参議院議員紙智子君提出海外先住民の遺骨返還に関する質問(第二〇一号)(同 六月二十七日) 参議院議員川田龍平君提出PFASのリスク評価過程における文書管理に関する質問(第二〇二号)(同 六月二十七日) 参議院議員福島みずほ君提出若年被害女性等支援事業等に係る誹謗中傷等に関する質問(第二〇三号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出自然的親子関係に基づく自由な養育監護及び憲法上の人格権に関する質問(第二〇四号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出報道機関のコンプライアンス強化の必要性に関する質問(第二〇五号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出JUTMに関する再質問(第二〇六号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出国防上の電波利用に係る自衛隊の自主性確保に関する質問(第二〇七号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出大阪・関西万博の運営費収支及び成果指標に関する質問(第二〇八号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出形骸化した定員合理化目標の見直しに関する質問(第二〇九号)(同 七月一日)	参議院議員浜田聡君提出エビデンスが乏しい予防医療施策への公的補助の見直しに関する質問(第二一〇号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出介護支援専門員の担当件数の上限及び根拠等に関する質問(第二一一号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出営利法人に病院等の開設が認められない法的根拠に関する再質問(第二一二号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出子ども・子育て関係費の推計における人口前提の妥当性に関する質問(第二一三号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出政府が行う推計と実績の乖離要因分析の必要性に関する質問(第二一四号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出ストレスチェックの対象拡大に伴う予算措置及び政策効果に関する質問(第二一五号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出特定健康診査・特定保健指導に係る費用と効果の検証及び制度見直しに関する質問(第二一六号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出医療・福祉の非営利性に関する質問(第二一七号)(同 七月一日) 参議院議員山本太郎君提出政府の米政策に関する質問(第二一八号)(同 七月一日) 参議院議員石垣のりこ君提出関東大震災時に東京海軍無線電信所船橋送信所から発出された電文に関する質問(第二一九号)(同 七月一日) 参議院議員石垣のりこ君提出公職選挙法上の個人演説会告知用ポスター等の解釈に関する質問(第二二〇号)(同 七月一日) 参議院議員石川大我君提出DVからの避難等に関する質問(第二二二号)(同 七月一日)	参議院議員石川大我君提出男性のDV被害と自殺に関する質問(第二二三号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種事業に関する質問(第二二四号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出緩和ケアの診療加算の対象拡大に関する質問(第二二五号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出防災庁の設置に関する質問(第二二六号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出離婚後の養育費・教育費に関する質問(第二二七号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出空き家活用等の地方創生事業の促進に関する質問(第二二八号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出学校事故対応に関する質問(第二二九号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出ICJの強制管轄受諾宣言に関する質問(第三〇号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出公正取引委員会委員長等の選考基準に関する質問(第三一号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出有識者会議等の委員の選任基準に関する質問(第三二号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出質問主意書の回答期限に関する質問(第三三号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出オンライン精神療法の安全性及び指針違反事例への行政対応に関する質問(第三四号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出精神保健指定医の制度的整理及び今後の在り方に関する質問(第三五号)(同 七月一日)	参議院議員神谷宗幣君提出同性婚に係る憲法解釈及び国民的議論に関する質問(第三五五号)(同 七月一日) 参議院議員神谷宗幣君提出難民認定制度の濫用防止及び審査体制の適正化に関する質問(第三五六号)(同 七月一日) 参議院議員神谷宗幣君提出「経営・管理」の在留資格を悪用した外国人移住の実態に関する再質問(第三五七号)(同 七月一日) 参議院議員小西洋之君提出薬価改定の課題に関する質問(第三五八号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出選挙期間中のオンライン広告の公職選挙法適合性に関する質問(第三五九号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出無人戦技術及び防衛予算の配分に関する質問(第三六〇号)(同 七月一日) 参議院議員水野素子君提出ギグワークに関する質問(第三六一号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出FIT・FIP制度による市場のゆがみ及び再エネ賦課金による国民負担に関する質問(第三六二号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出人口千人当たりの公的部門における職員数の国際比較に関する質問(第三六三号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出地方自治体と台湾の関係に係る政府の認識及び日台関係の在り方に関する質問(第三六四号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出薬剤師の業務規制及び医療職種の人員配置基準等の見直しに関する質問(第三六五号)(同 七月一日) 参議院議員浜田聡君提出高額療養費自己負担上限額引上げの優先度に関する再質問(第三六六号)(同 七月一日)
--	---	--	--

令和七年八月一日 参議院会議録第一号(その二) 議長の報告事項

一〇

参議院議員牧山ひろえ君提出いじめ・虐待等に苦しむ子どもたちのＳＯＳ相談窓口の乱立問題に関する質問(第二四七号)(同 七月一日)	参議院議員浜田聡君提出外務省ウェブサイトの「南京事件」に係る記述に関する再質問に対する答弁書(第一九七号)	参議院議員浜田聡君提出大阪・関西万博の運営費収支及び成果指標に関する質問に対する答弁書(第二〇八号)	参議院議員石垣のりこ君提出公職選挙法上の個人演説会告知用ポスター等の解釈に関する質問に対する答弁書(第二二〇号)
同日内閣から、金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第五条の規定に基づく破綻金融機関の処理のために講じた措置の内容等に関する報告を受領した。	参議院議員野田国義君提出固定価格買取制度に関する質問に対する答弁書(第一九八号)	参議院議員浜田聡君提出形骸化した定員合理化目標の見直しに関する質問に対する答弁書(第二〇九号)	参議院議員石川大我君提出ＤＶからの避難等に関する質問に対する答弁書(第二二一号)
同日内閣から、財政法第四十六条第二項の規定による令和六年度第四・四半期における予算使用の状況(ただし出納整理期間を含まず)の報告を受領した。	参議院議員塩村あやか君提出悪質ホストクラブの海外進出による被害防止に関する質問に対する答弁書(第一九九号)	参議院議員浜田聡君提出エビデンスが乏しい予防医療施策への公的補助の見直しに関する質問に対する答弁書(第二一〇号)	参議院議員水野素子君提出新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種事業に関する質問に対する答弁書(第二二三号)
同日内閣から、財政法第四十六条第二項の規定による令和六年度第四・四半期における国庫の状況の報告を受領した。	参議院議員紙智子君提出海外先住民の遺骨返還に関する質問に対する答弁書(第二一〇号)	参議院議員浜田聡君提出営利法人に病院等の開設が認められない法的根拠に関する再質問に対する答弁書(第二二二号)	参議院議員水野素子君提出緩和ケアの診療加算の対象拡大に関する質問に対する答弁書(第二二四号)
去る六月二十六日国と地方の協議の場議長から、国と地方の協議の場に関する法律第七条第一項の規定に基づく国と地方の協議の場(令和七年度第一回)における協議の概要に関する報告書を受領した。	同日会計検査院長から、会計検査院法第三十条の二の規定に基づく「国内開発された固定翼哨戒機(P-1)の運用等の状況について」の報告を受領した。	参議院議員浜田聡君提出子ども・子育て関係費の推計における人口前提の妥当性に関する質問に対する答弁書(第二二三号)	参議院議員水野素子君提出防災庁の設置に関する質問に対する答弁書(第二二五号)
去る六月二十七日内閣から次の答弁書を受領した。	参議院議員福島みずほ君提出若年被害女性等支援事業等に係る誹謗中傷等に関する質問に対する答弁書(第二〇三号)	参議院議員浜田聡君提出政府が行う推計と実績の乖離要因分析の必要性に関する質問に対する答弁書(第二一四号)	参議院議員水野素子君提出学校事故対応に関する質問に対する答弁書(第二二八号)
参議院議員齊藤健一郎君提出観光公害対策に関する質問に対する答弁書(第一九二号)	参議院議員浜田聡君提出自然的親子関係に基づく自由な養育監護及び憲法上の人格権に関する質問に対する答弁書(第二〇四号)	参議院議員浜田聡君提出特定健康診査・特定保健指導に係る費用と効果の検証及び制度見直しに関する質問に対する答弁書(第二一六号)	参議院議員水野素子君提出公正取引委員会委員長等の選考基準に関する質問に対する答弁書(第二三〇号)
参議院議員浜田聡君提出石破茂内閣総理大臣の過去の北朝鮮訪問及び接待疑惑に関する質問に対する答弁書(第一九四号)	参議院議員浜田聡君提出報道機関のコンプライアンス強化の必要性に関する質問に対する答弁書(第二〇五号)	参議院議員山本太郎君提出政府の米政策に関する質問に対する答弁書(第二二七号)	参議院議員水野素子君提出有識者会議等の委員の選任基準に関する質問に対する答弁書(第二三一号)
参議院議員浜田聡君提出地方自治体の外郭団体における職員の採用・登用・不祥事対応に関する質問に対する答弁書(第一九五号)	参議院議員浜田聡君提出JUTMに関する再質問に対する答弁書(第二〇六号)	参議院議員石垣のりこ君提出関東大震災時に東京海軍無線電信所船舶橋送信所から発出された電文に関する質問に対する答弁書(第二一九号)	参議院議員水野素子君提出質問主意書の回答期限に関する質問に対する答弁書(第二三二号)

参議院議員水野素子君提出オンライン精神療法の安全性及び指針違反事例への行政対応に関する質問に対する答弁書(第二三三三号)

参議院議員水野素子君提出精神保健指定医の制度的整理及び今後の在り方に関する質問に対する答弁書(第二三四号)

参議院議員神谷宗幣君提出同性婚に係る憲法解釈及び国民的議論に関する質問に対する答弁書(第二三五号)

参議院議員神谷宗幣君提出難民認定制度の濫用防止及び審査体制の適正化に関する質問に対する答弁書(第二三六号)

参議院議員神谷宗幣君提出「経営・管理」の在留資格を悪用した外国人移住の実態に関する再質問に対する答弁書(第二三七号)

参議院議員小西洋之君提出業種改定の課題に関する質問に対する答弁書(第二三八号)

参議院議員水野素子君提出選挙期間中のオンライン広告の公職選挙法適合性に関する質問に対する答弁書(第二三九号)

参議院議員水野素子君提出無人戦技術及び防衛予算の配分に関する質問に対する答弁書(第二四〇号)

参議院議員水野素子君提出ギグワークに関する質問に対する答弁書(第二四一号)

参議院議員浜田聡君提出FIT・FIP制度による市場のゆがみ及び再エネ賦課金による国民負担に関する質問に対する答弁書(第二四二号)

参議院議員浜田聡君提出人口千人当たりの公的部門における職員数の国際比較に関する質問に対する答弁書(第二四三号)

参議院議員浜田聡君提出地方自治体と台湾の関係に係る政府の認識及び日台関係の在り方に関する質問に対する答弁書(第二四四号)

参議院議員浜田聡君提出薬剤師の業務規制及び医療職種の人員配置基準等の見直しに関する質問に対する答弁書(第二四五号)

参議院議員浜田聡君提出高額療養費自己負担上限額引上げの優先度に関する再質問に対する答弁書(第二四六号)

参議院議員牧山ひろえ君提出いじめ・虐待等に関する質問に対する答弁書(第二四七号)

去る七月四日議長は、ケビン・ジョゼフ・ファレル・ローマ教皇代行より、フランシスコ・ローマ教皇台下の逝去に際し発送した弔意表明の書簡に対する礼状を受け受した。

去る七月十一日議長は、アメリカ合衆国テキサス州において発生した豪雨による洪水被害に対し、J・D・ヴァンス同国上院議長宛舞状を発送した。

去る七月十四日議長において、次の常任委員長の辞任を許可した。

予算委員長 鶴保 庸介君
去る七月十五日内閣総理大臣から令和元年七月二十一日執行の参議院比例代表選出議員選挙の繰上補充による当選人について通知書を受領した。

桑原久美子君 (鈴木宗男君辞職による)

同日議長において、常任委員を次のとおり氏名した。

経済産業委員 桑原久美子君
去る七月二十二日内閣から、厚生年金保険の保険給付及び保険料の納付の特例等に関する法律第十五条の規定に基づく同法の施行状況に関する報告を受領した。

去る七月二十五日内閣総理大臣から参議院議員通常選挙の結果、足立康史君外百二十四名が当選した旨の通知書を受領した。

去る七月二十八日をもって副議長長浜博行君は議員任期満了となった。

同日をもって次の常任委員長は議員任期満了となった。

内閣委員長 和田 政宗君
法務委員長 若松 謙維君
外交防衛委員長 滝沢 求君
財政金融委員長 三宅 伸吾君
文教科学委員長 堂故 茂君
厚生労働委員長 柘植 芳文君
農林水産委員長 舞立 昇治君
経済産業委員長 牧山ひろえ君
議院運営委員長 牧野たかお君
懲罰委員長 勝部 賢志君

去る七月二十九日内閣から、国民生活安定緊急措置法第二十八条の規定に基づく令和七年一月一日から同年六月三十日までの間における同法の施行状況報告書を受領した。

一昨七月三十日議長は、次のとおり各議員からの申請に基づき、議員氏名として使用することを許可した。

議員氏名

いんどう周作 (大童 周作君申請)
かまやち敏 (金泡 敏君申請)
郡山りょう (郡山 玲君申請)
小島とも子 (小島 智子君申請)
森 ゆうこ (森 裕子君申請)
ラサール石井 (石井 朗夫君申請)
蓮 舫 (齊藤 蓮舫君申請)
牛田 茉友 (高橋 茉友君申請)

江原くみ子 (江原久美子君申請)
かこしま彰宏 (籠島 彰宏君申請)
小林さやか (中山さやか君申請)
石井めぐみ (根本めぐみ君申請)
佐々木りえ (中野 理江君申請)
石 平 (北埜 陽君申請)
岩本 麻奈 (富田 麻奈君申請)
奥田ふみよ (遠藤英美代君申請)
高良 沙哉 (坂本 沙哉君申請)
尾辻 朋美 (末原 朋美君申請)

昨七月三十一日委員長から次の報告書が提出された。

内閣の重要政策及び警察等に関する調査報告書
行政制度、地方行政、選挙、消防、情報通信及び郵政事業等に関する調査報告書
法務及び司法行政等に関する調査報告書
外交、防衛等に関する調査報告書
教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査報告書
社会保障及び労働問題等に関する調査報告書
農林水産に関する調査報告書
経済、産業、貿易及び公正取引等に関する調査報告書
国土の整備、交通政策の推進等に関する調査報告書
環境及び公害問題に関する調査報告書
予算の執行状況に関する調査報告書
災害対策樹立に関する調査報告書
政府開発援助等及び沖縄・北方問題対策樹立に関する調査報告書

投票者氏名		
議長選挙投票者氏名		
青木 一彦君	青山 繁晴君	馬場 成志君
赤松 健君	浅尾慶一郎君	福岡 資麿君
朝日健太郎君	阿達 雅志君	藤井 一博君
有村 治子君	生稲 晃子君	藤木 眞也君
石井 準一君	石井 浩郎君	古川 俊治君
石田 昌宏君	磯崎 仁彦君	堀井 巖君
井上 義行君	猪口 邦子君	舞立 昇治君
今井絵理子君	岩本 剛人君	松川 るい君
いんどう周作君	上野 通子君	松村 祥史君
臼井 正一君	江島 潔君	三原じゅん子君
大家 敏志君	岡田 直樹君	宮本 和宏君
小川 克巳君	越智 俊之君	森 まさこ君
小野田紀美君	梶原 大介君	山下 雄平君
加田 裕之君	片山さつき君	山田 宏君
加藤 明良君	かまやち敏君	山本 啓介君
神谷 政幸君	北村 経夫君	山本 順三君
見坂 茂範君	上月 良祐君	若井 敦子君
古賀友一郎君	古庄 玄知君	脇 雅昭君
小林 一大君	小林孝一郎君	青木 愛君
こやり隆史君	酒井 庸行君	石橋 通宏君
櫻井 充君	佐藤 啓君	打越さく良君
自見はなこ君	清水 真人君	鬼木 誠君
進藤金日子君	末松 信介君	岸 真紀子君
鈴木 大地君	鈴木 宗男君	熊谷 裕人君
高橋 克法君	高橋はるみ君	古賀 千景君
滝波 宏文君	鶴保 庸介君	小島とも子君
出川 桃子君	友納 理緒君	斎藤 嘉隆君
永井 学君	中曽根弘文君	柴 慎一君
中西 祐介君	西田 昌司君	高木 真理君
西田 英範君	野上浩太郎君	田名部匡代君
野村 哲郎君	橋本 聖子君	徳永 エリ君
長谷川 岳君	長谷川英晴君	羽田 次郎君
		福士 珠美君
		福山 哲郎君
		東野 秀樹君
		福山 守君
		藤川 政人君
		船橋 利実君
		星 北斗君
		本田 顕子君
		牧野たかお君
		松下 新平君
		松山 政司君
		宮沢 洋一君
		宮本 周司君
		山崎 正昭君
		山田 太郎君
		山谷えり子君
		山本佐知子君
		吉井 章君
		若林 洋平君
		渡辺 猛之君
		石垣のりこ君
		泉 房穂君
		小沢 雅仁君
		勝部 賢志君
		木戸口英司君
		郡山りょう君
		古賀 之士君
		小西 洋之君
		塩村あやか君
		杉尾 秀哉君
		田島麻衣子君
		辻元 清美君
		長浜 博行君
		広田 一君
		福島みずほ君
		牧山ひろえ君
		三上 えり君
		村田 享子君
		森本 真治君
		横沢 高德君
		吉田 忠智君
		蓮 舫君
		磯崎 哲史君
		伊藤 辰夫君
		牛田 茉友君
		奥村 祥大君
		川合 孝典君
		小林さやか君
		竹詰 仁君
		堂込麻紀子君
		芳賀 道也君
		浜野 喜史君
		平戸 航太君
		水野 孝一君
		秋野 公造君
		伊藤 孝江君
		川村 雄大君
		佐々木雅文君
		下野 六太君
		高橋 光男君
		竹谷とし子君
		司 隆史君
		原田大二郎君
		三浦 信祐君
		横山 信一君
		浅田 均君
		石井 苗子君
		猪瀬 直樹君
		嘉田由紀子君
		金子 道仁君
		水岡 俊一君
		森 ゆうこ君
		山内佳菜子君
		吉川 沙織君
		ラサール石井君
		足立 康史君
		伊藤 孝恵君
		上田 清司君
		江原くみ子君
		かごしま彰宏君
		後藤 斎君
		榎葉賀津也君
		田村 まみ君
		庭田 幸恵君
		浜口 誠君
		原田 秀一君
		舟山 康江君
		山田 吉彦君
		石川 博崇君
		上田 勇君
		窪田 哲也君
		里見 隆治君
		杉 久武君
		竹内 真二君
		谷合 正明君
		西田 実仁君
		平木 大作君
		宮崎 勝君
		青島 健太君
		石井 章君
		石井めぐみ君
		岡崎 太君
		片山 大介君
		串田 誠一君
		佐々木りえ君
		石 平君
		中条きよし君
		松沢 成文君
		安達 悠司君
		岩本 麻奈君
		大津 力君
		後藤 翔太君
		塩入 清香君
		中田 優子君
		松田 学君
		山中 泉君
		吉良よし子君
		白川 容子君
		仁比 聡平君
		伊勢崎賢治君
		奥田ふみよ君
		天島 大輔君
		北村 晴男君
		伊波 洋一君
		安野 貴博君
		齊藤健一郎君
		寺田 静君
		平山佐知子君

いんどう周作君	上野 通子君
白井 正一君	江島 潔君
大家 敏志君	岡田 直樹君
小川 克巳君	越智 俊之君
小野田紀美君	梶原 大介君
加田 裕之君	片山さつき君
加藤 明良君	かまやち敏君
神谷 政幸君	北村 経夫君
見坂 茂範君	上月 良祐君
古賀友一郎君	古庄 玄知君
小林 一大君	小林孝一郎君
こやり隆史君	酒井 庸行君
櫻井 充君	佐藤 啓君
自見はなこ君	清水 真人君
進藤金日子君	末松 信介君
鈴木 大地君	鈴木 宗男君
高橋 克法君	高橋はるみ君
滝波 宏文君	鶴保 庸介君
出川 桃子君	友納 理緒君
永井 学君	中曽根弘文君
中西 祐介君	西田 昌司君
西田 英範君	野上浩太郎君
野村 哲郎君	橋本 聖子君
長谷川 岳君	長谷川英晴君
馬場 成志君	東野 秀樹君
福岡 資麿君	福山 守君
藤井 一博君	藤川 政人君
藤木 真也君	船橋 利実君
古川 俊治君	星 北斗君
堀井 巖君	本田 顕子君
舞立 昇治君	牧野たかお君
松川 るい君	松下 新平君
松村 祥史君	松山 政司君
三原じゅん子君	宮沢 洋一君

宮本 和宏君	宮本 周司君
森 まさこ君	山崎 正昭君
山下 雄平君	山田 太郎君
山田 宏君	山谷えり子君
山本 啓介君	山本佐知子君
山本 順三君	吉井 章君
若井 敦子君	若林 洋平君
脇 雅昭君	渡辺 猛之君
青木 愛君	石垣のりこ君
石橋 通宏君	泉 房穂君
打越さく良君	小沢 雅仁君
鬼木 誠君	勝部 賢志君
岸 真紀子君	木戸口英司君
熊谷 裕人君	郡山りょう君
古賀 千景君	古賀 之土君
小島とも子君	小西 洋之君
斎藤 嘉隆君	塩村あやか君
柴 愼一君	杉尾 秀哉君
高木 真理君	田島麻衣子君
田名部匡代君	辻元 清美君
徳永 エリ君	長浜 博行君
羽田 次郎君	広田 一君
福士 珠美君	福島みずほ君
福山 哲郎君	牧山ひろえ君
三上 えり君	水岡 俊一君
村田 享子君	森 ゆうこ君
森本 真治君	山内佳菜子君
横沢 高徳君	吉川 沙織君
吉田 忠智君	ラサル石井君
蓮 舫君	足立 康史君
磯崎 哲史君	伊藤 孝恵君
伊藤 辰夫君	上田 清司君
牛田 茉友君	江原くみ子君
奥村 祥大君	かこしま彰宏君

川合 孝典君	後藤 斎君
小林さやか君	榛葉賀津也君
竹詰 仁君	田村 まみ君
堂込麻紀子君	庭田 幸恵君
芳賀 道也君	浜口 誠君
浜野 喜史君	原田 秀一君
平戸 航太君	舟山 康江君
水野 孝一君	山田 吉彦君
秋野 公造君	石川 博崇君
伊藤 孝江君	上田 勇君
川村 雄大君	窪田 哲也君
佐々木雅文君	里見 隆治君
下野 六太君	杉 久武君
高橋 光男君	竹内 真二君
竹谷とし子君	谷合 正明君
司 隆史君	西田 実仁君
原田大二郎君	平木 大作君
三浦 信祐君	宮崎 勝君
横山 信一君	青島 健太君
浅田 均君	石井 章君
石井 苗子君	石井めぐみ君
猪瀬 直樹君	岡崎 太君
嘉田由紀子君	片山 大介君
金子 道仁君	串田 誠一君
佐々木りえ君	柴田 巧君
石 平君	高木かおり君
中条きよし君	新実 彰平君
松沢 成文君	松野 明美君
安達 悠司君	安藤 裕君
岩本 麻奈君	梅村みずほ君
大津 力君	神谷 宗幣君
後藤 翔太君	櫻井 祥子君
塩入 清香君	杉本 純子君
中田 優子君	初鹿野裕樹君

松田 学君	宮出 千慧君
山中 泉君	岩渕 友君
吉良よし子君	小池 晃君
白川 容子君	大門実紀史君
仁比 聡平君	山添 拓君
伊勢崎賢治君	大島九州男君
奥田ふみよ君	木村 英子君
天畠 大輔君	山本 太郎君
北村 晴男君	百田 尚樹君
伊波 洋一君	高良 沙哉君
安野 貴博君	尾辻 朋実君
齊藤健一郎君	寺田 静君
ながえ孝子君	平山佐知子君
望月 良男君	

〔参照〕
指定された議席番号は左のとおり。

一	中田 優子君
二	
三	
四	
五	宮出 千慧君
六	平戸 航太君
七	櫻井 祥子君
八	後藤 翔太君
九	小林さやか君
一〇	安達 悠司君
一一	塩入 清香君
一二	庭田 幸恵君
一三	杉本 純子君
一四	初鹿野裕樹君
一五	竹詰 仁君
一六	堂込麻紀子君
一七	大津 力君
	岩本 麻奈君

一八	山中 泉君	五二	杉 久武君	一二〇	山本 啓介君
一九	浜口 誠君	五三	舟山 康江君	一二一	山本佐知子君
二〇	松田 学君	五四	榛葉賀津也君	一二二	高橋はるみ君
二一	安藤 裕君	五五	川合 孝典君	一二三	星 北斗君
二二	梅村みずほ君	五六	横山 信一君	一二四	清水 真人君
二三	磯崎 哲史君	五七	上田 勇君	一二五	加田 裕之君
二四	神谷 宗幣君	五八	伊藤 孝江君	一二六	佐藤 啓君
二五	上田 清司君	五九	秋野 公造君	一二七	こやり隆史君
二六	奥村 祥大君	六〇	里見 隆治君	一二八	自見はなこ君
二七	白川 容子君	六一	石川 博崇君	一二九	進藤金日子君
二八	かごしま彰宏君	六二	竹谷とし子君	一三〇	堀井 巖君
二九	岩渕 友君	六三	谷合 正明君	一三一	馬場 成志君
三〇	大門実紀史君	六四	西田 実仁君	一三二	酒井 庸行君
三一	牛田 菜友君	六五	竹内 真二君	一三三	上月 良祐君
三二	水野 孝一君	六六	友納 理緒君	一三四	長谷川 一岳君
三三	山添 拓君	六七	川村 雄大君	一三五	大家 敏志君
三四	江原くみ子君	六八	長谷川英晴君	一三六	牧野たかお君
三五	原田 秀一君	六九	ながえ孝子君	一三七	石井 準一君
三六	吉良よし子君	七〇	佐々木雅文君	一三八	磯崎 仁彦君
三七	山田 吉彦君	七一	小林 一大君	一三九	藤川 政人君
三八	伊藤 辰夫君	七二	加藤 明良君	一四〇	有村 治子君
三九	仁比 聡平君	七三	司 隆史君	一四一	古川 俊治君
四〇	窪田 哲也君	七四	東野 秀樹君	一四二	岡田 直樹君
四一	田村 まみ君	七五	西田 英範君	一四三	松山 政司君
四二	芳賀 道也君	七六	原田大二郎君	一四四	山本 順三君
四三	小池 晃君	七七	梶原 大介君	一四五	
四四	下野 六太君	七八	神谷 政幸君	一四六	末松 信介君
四五	足立 康史君	七九	古庄 玄知君	一四七	北村 晴男君
四六	後藤 斎君	八〇	高橋 光男君	一四八	高良 沙哉君
四七	宮崎 勝君	八一	越智 俊之君	一四九	望月 良男君
四八	三浦 信祐君	八二	白井 正一君	一五〇	百田 尚樹君
四九	浜野 喜史君	八三	本田 顕子君	一五一	伊波 洋一君
五〇	伊藤 孝恵君	八四	井上 義行君	一五二	若井 敦子君
五一	平木 大作君	八五	青山 繁晴君	一五三	宮本 和宏君

令和七年八月一日 参議院会議録第一号(その二) 指定された議席

一八七	山崎 正昭君	二二一	水岡 俊一君	二五五	木村 英子君
一八六	吉川 沙織君	二二〇	斎藤 嘉隆君	二五四	天畠 大輔君
一八五	鈴木 宗男君	二一九	石橋 通宏君	二五三	浅田 均君
一八四	橋本 聖子君	二一八	広田 一君	二五二	柴田 巧君
一八三	鶴保 庸介君	二一七	小西 洋之君	二五一	猪瀬 直樹君
一八二		二一六	杉尾 秀哉君	二五〇	松沢 成文君
一八一	櫻井 充君	二一五	熊谷 裕人君	二四九	片山 大介君
一八〇	松村 祥史君	二一四	森本 真治君	二四八	石井 苗子君
一七九	徳永 エリ君	二一三	吉田 忠智君	二四七	石井 章君
一七八	中西 祐介君	二一二	古賀 之土君	二四六	打越さく良君
一七七	上野 通子君	二一一	木戸口英司君	二四五	嘉田由紀子君
一七六	森 まさこ君	二一〇	勝部 賢志君	二四四	高木かおり君
一七五	石井 浩郎君	二〇九	石垣のりこ君	二四三	串田 誠一君
一七四	西田 昌司君	二〇八	岸 真紀子君	二四二	羽田 次郎君
一七三	渡辺 猛之君	二〇七	田島麻衣子君	二四一	松野 明美君
一七二	江島 潔君	二〇六	塩村あやか君	二四〇	青島 健太君
一七一	石田 昌宏君	二〇五	鬼木 誠君	二三九	中条きよし君
一七〇	北村 経夫君	二〇四	柴 慎一君	二三八	岡崎 太君
一六九	小沢 雅仁君	二〇三	古賀 千景君	二三七	石 平君
一六八	山田 太郎君	二〇二	高木 真理君	二三六	金子 道仁君
一六七	松川 るい君	二〇一	山本 太郎君	二三五	
一六六	藤木 真也君	二〇〇	村田 享子君	二三四	佐々木りえ君
一六五	船橋 利実君	一九九	横沢 高徳君	二三三	石井めぐみ君
一六四	小川 克巳君	一九八	大島九州男君	二三二	
一六三	福山 守君	一九七	ラサル石井君	二三一	新実 彰平君
一六二	岩本 剛人君	一九六	小島とも子君	二三〇	長浜 博行君
一六一	三上 えり君	一九五	伊勢崎賢治君	二二九	福島みずほ君
一六〇	いんどう周作君	一九四	福士 珠美君	二二八	
一五九	若林 洋平君	一九三	郡山りよう君	二二七	辻元 清美君
一五八	吉井 章君	一九二	奥田ふみよ君	二二六	蓮 舫君
一五七	泉 房穂君	一九一	山内佳菜子君	二二五	青木 愛君
一五六	かまやち敏君	一九〇	福山 哲郎君	二二四	牧山ひろえ君
一五五	見坂 茂範君	一八九	関口 昌一君	二二三	森 ゆうこ君
一五四	脇 雅昭君	一八八	中曽根弘文君	二二二	田名部匡代君

官報

号 外
国会会議録

令和 七 年 八 月 一 日

○ 第二百十八回 参議院会議録第一号(その二)

令和七年八月一日(金曜日)

開 会 式

午後一時五十八分 参議院議長、衆議院参議院の副議長、常任委員長、特別委員長、憲法審査会会長、情報監視審査会会長、政治倫理審査会会長、議員、内閣総理大臣その他の国務大臣、最高裁判所長官及び会計検査院長は、式場に入り、所定の位置に着いた。

午後二時 天皇陛下は、衆議院議長の前行で式場に入られ、お席に着かれた。

(一) 同敬礼

午後二時一分 衆議院議長額賀福志郎君は、式場の中央に進み、次の式辞を述べた。

式 辞

天皇陛下の御臨席を仰ぎ、第二百十八回国会の開会式を行うに当たり、衆議院及び参議院を代表して、式辞を申し述べます。

去る七月二十日参議院議員通常選挙が行われ、本日、臨時国会が新たな構成のもとに召集されました。

我々は、決意を新たに、当面する内外の諸情勢に的確に対処し、必要な施策の推進に万全を期さなければなりません。

ここに、開会式に当たり、我々に課せられた重大な使命に鑑み、日本国憲法の精神を体し、各々最善を尽くしてその任務を遂行し、もって国民の信託に応えようとするものであります。次いで、天皇陛下から次のおことばを賜った。

おことば

本日、第二百十八回国会の開会式に臨み、参議院議員通常選挙による新議員を迎え、全国民を代表する皆さんと一堂に会することは、私の深く喜びとするところであります。

ここに、国会が、当面する内外の諸問題に対処するに当たり、国権の最高機関として、その使命を十分に果たし、国民の信託に応えることを切に希望します。

(二) 同敬礼

衆議院議長は、おことば書をお受けした。

午後二時五分 天皇陛下は、参議院議長の前行で式場を出られた。

次いで、一同は式場を出た。

午後二時六分式を終わる

